

郷土紹介

弾丸道路

青豆豆

鈴木堅之

昭和の初め頃、玉川地域は畑あり田園ありの長閑な田園風景が広がっていたが、将来の地域発展の為にと先人達の努力により「耕地整理」という大事業がなされた。

その結果、道路も大部分が真・直ぐとなり都会の様相を呈してきました。

ここを通る大山道も、古くから江戸と相模を繋ぐ信仰と生活の道として、大いに利用されて来ましたが、曲りくねった道幅の狭い道路だった。

戦後交通量も多くなり、幹線道路の必要性和GHQの指令もあり、昭和31年、

はじめまして

榎尾武久

四月一日付で、成城出張所から用賀出張所へ異動してまいりました。

用賀は大山道を始め歴史のあるまちだと聞いており、新たな出会いや発見があるのではないかと楽しみにしております。

私も世田谷区に二十年以上も暮らしておきながら、公私共に用賀には縁がなく、取っ手車したこともあり

ませんでした。初日は駅から職場に行くのに地図を頼りに迷いながら通勤した程でした。

早いもので、異動してからすでに四ヶ月が過ぎようとしておりますが、まだまだわからないことばかりです。

これから、街のいろんな

大山道も新町一丁目から瀬田交差点まで、幅30mの直線道路が計画される事になった。地元の人達は「スピードの出せる道は、厚木航空基地や米軍キャンプ座間へ通じる道」と大騒ぎになったものです。専攻道路構造は驚く程深く、コンクリートが厚く、母に戦争が通れる軍用道路みたいでした。

私の住居もこの計画道路にスッポリ入ってしまい隣に引越さざるを得なかったのが想い出されます。

この道路は最初「御道放射4号線」と呼ばれ、現在は「国道246号線」となり、沼津まで通じていて重要な幹線道路として活躍しています。



ところへ行き、まちの人の話を聞き、調べ、勉強し、少しでも皆様のお役に立てるように頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

☆

用賀出張所二子玉川分室は二子玉川ライズ・ショッピングセンタータウンフロント1階に移転しました。

電話 (3707) 4946
FAX (5491) 7041

☆

「ひろば」創刊号以来、二子玉川地域情報や郷土史欄を担当していただいた、綿築泰典池田良夫さんは六月十六日急逝。心よりご冥福をお祈りいたします。

④Yoga Summer Festival

・用賀くすのき公園

8月27日(土)

ふれあい

豊原由

高橋安代

私の生まれ故郷は、青森の八戸です。北東北の有名な港町として有名ですが、私の生まれた寺は、中心街から北に位置して、静かな半蔵半漁の町にあります。

青森と言うと、豪雪地帯というイメージですが、太平洋側の八戸は、さほど雪は積りません。

この時期、田園地帯を見渡す小高い丘にある寺からは、海が一望でき、田んぼの緑と海の碧のグラデーションが、とても好きでした。

食べ物も、イカを始めとする魚介類、豚やコシメ等の旬の野草も豊富で大変美味しくいただいております。

スポーツ

今年の夏の行事

①盆踊り

・用賀くすのき公園

7月20日(水) 21日(木)

・二子玉川地区ふれあい広場

7月22日(金) 23日(土)

・瀬田小学校

7月30日(土) 31日(日)

・用賀小学校

8月19日(金) 20日(土)

②子ども映画会

・上用賀アートホール

7月21日(木)

・用賀出張所活動フロア

8月4日(木)

・瀬田小学校

8月7日(日)

・京西小学校

8月26日(金)

③納涼の夕べ

・用賀いりか道

8月22日(月)

午後3時から8時まで



わが故郷

お盆の時期には、各町で盆踊りが開かれ、帰省された方も参加して盛大に踊りの輪が広がります。

日頃から、人と人とのふれあいをとても大切にしていた土地柄もあり、お酒も手伝って夜遅くまで話の輪も広がります。

私の町でも、このたびの東日本大震災で、海沿いの約二百軒程の家屋が津波の被害を受け、床上浸水で大変だったと聞いております。

義援品を持ち寄って無料のバザーを開催することを知り、少しばかりの義援品を送らせていただきました。

(用賀地区民生委員)



本号のテーマは「育てよう人の輪」。

かつて、茶の間で家族の団聚、縁側での四方山話、そして、ご婦人方の井戸端会議……と普段着で話合いの場が沢山ありました。

今はメール時代、携帯電話と眺めっこ、デジタルテレビの画面には外国のニュースが即時に流れています。

より早く、より便利にと云う生活に慣れてしまった私たちは、相手の目を見つめ、言葉を運び、心を伝える事の大切さを、時折は思い起す必要があるのではないのでしょうか。

浴衣姿に扇の風、今年の夏も楽しい思い出作りを。

(飯田)